

# 有馬温泉

(兵庫県神戸市)

## 注目ポイント！

外国人観光客の受け入れ体制を整備し、国際的な観光地へ。  
優れた多泉質の温泉と、豊かな自然、歴史を活用した滞在型観光地  
づくり。



**観光入込客数が約102万人(H7年)から約159万人(H17年)に！**



有馬温泉全景

## コラム

現在、有馬は地域一丸となって泊食分離を推進し、課題を克服のうえ国際的に通用する温泉リゾート地を目指している。

金井氏は、既成概念にとらわれず個人客をターゲットとした個性的な宿づくりと、まちづくり全体を考えた集客の仕掛け作りを実践し、有馬の住民と地域振興に取り組んでいる。



観光カリスマ  
「陶泉 御所坊」主人  
金井 啓修氏

## これまでの経緯

- 平成11年(1999) 豊臣秀吉の湯殿の遺構を紹介する「太閤の湯殿館」がオープン。
- 平成13年(2001) 新たな外湯「銀の湯」がオープン。
- 平成14年(2002) 有馬温泉会館をリニューアルした「金の湯」がオープン。
- 平成15年(2003) 旧神戸市有馬保養所を改修し、観光客が有馬の歴史、文化、伝統工芸など体感でき、かつ観光客の交流・情報発信のできる拠点として「有馬の工房」を整備する。六甲有馬観光特区が認定される。
- 平成17年(2005) 有馬ビューホテルが別館日帰り温泉を全面改装し、太閤秀吉の蒸し風呂を再現した「太閤の湯」をオープン。  
案内サインや観光マップ、ホームページなど観光情報発信の多言語化等、外国人観光客誘致事業を核とした「有馬温泉再生事業」を実施する。
- 平成18年(2006) 神戸空港開港から7月末までの間、(社)有馬温泉観光協会が、神戸空港～有馬温泉間の無料送迎バスを1日3往復半運行する。  
有馬籠、炭酸せんべいなどの地場産業を観光客に発信するため、有馬の工房で「地場産業マンス」を展開する。

## 主な取り組み

### 温泉地づくり

そぞろ歩きのできる環境づくりのため、世界でも珍しい多泉質温泉の外湯めぐりとして、「太閤の湯」、「銀の湯」と「金の湯」を別々の場所に整備し、「金の湯」の横に足湯もリニューアル。

また、有馬温泉内に多言語表記(英語・中国語・韓国語)の観光案内サインを設置し、外国人観光客を含む全ての観光客に配慮した情報提供を行っている。



金の湯

### イベントで観光まちづくり

有馬温泉では、正月の恒例行事として、報恩と温泉の繁栄を祈念して行う「入初式」がある。平成18年に実施された入初式では、多言語パンフレット等を用意し、外国人観光客にも配慮。他にも、春の桜祭り、夏の有馬夏祭り・有馬七夕ひょうたんまつり、秋の有馬大茶会等の四季折々のイベントを実施。



入初式

### 新たな観光資源づくり

泊食分離の取り組みとして、素泊まり、宿泊・飲食プラン(部屋・料理の選択制)、外飯プラン等を提供。

従来の人形筆や炭酸せんべいに加えて、「有馬鉱泉」で造られたサイダー等新たなお土産の商品開発により、土産物屋を活性化。



お土産品



### 外国人旅行者誘致活動の強化

観光マップ、ホームページなど観光情報発信の多言語化と、外国人旅行者の実態調査を実施。また、外国人向け観光プログラムの策定や、外国人おもてなしセミナーを実施し、国際競争力のある観光地づくりを推進。



足湯風景

### 問い合わせ先

神戸市 国際文化観光局文化観光部 観光交流課  
Tel : 078 - 322 - 5339 <http://feel-kobe.jp/>  
社団法人有馬温泉観光協会 有馬温泉観光総合案内所  
Tel : 078 - 904 - 0708 <http://www.arima-onsen.com/>